

「但馬地域のオサムシ」補遺

高橋寿郎*

上記表題にて本誌上に発表して頂きました報文中 (Iratsume, 3: 33-36, 1979)、筆者の不注意で訂正しておかなければいけない点、並びに新しく発表された報文から追記しておきたい点がありますので、此処に補遺として発表させていただきます。

○ マヤサンオサムシの分布

前回の報文で、本種の鳥取県・岡山県での記録が無いもの記しましたが、鳥取県岩美郡高山の記録があるのを見落としていましたので、此処に訂正しておきます (臼浦・桂, 1971)。ただ、兵庫県との隣接の県での記録はどれもこの1例だけのようで、本種の西限は兵庫県並びに鳥取県の東端部といえそうです。岡山県側には記録が無いようで、このあたりの西限が今のところはっきりしません。

○ 1979年4月に大阪市立自然史博物館収蔵資料目録、第11集として近畿オサムシ研究グループがまとめた『近畿地方のオサムシ』が発表され、但馬地域のオサムシの記録も多く含まれています。これで、この地域でのオサムシ類もだいぶわかってきたように思われます。

○ ダイセンオサムシが上記の報文の中で記録されています (美作郡温泉町春來峠の池畔, 1♂; 村岡町春來峠〜丸味, alt. 370 m, 1♂; 村岡町和田, alt. 220 m, 1♀ の3例)。やはり、この地域には分布しているようです。さらに調査を続ける必要があると考えます。

○ 発表させて頂いた筆者の報文中、種毎の記録で [] のものは記録から引用したもので、() のものは筆者の採集、又は恩与を受けた標本で現在筆者の保管しているものです。

* 現住所 〒652 神戸市